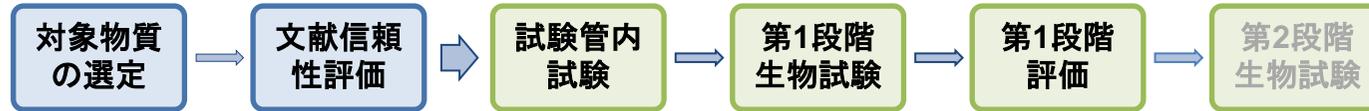


ビスフェノール A (CAS no. 80-05-7)

【現在の評価段階】 第1段階評価終了（第2段階生物試験を実施予定）



文献信頼性評価結果

| 示唆された作用 | | | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|---------|----------|--------|------|
| エストロゲン | 抗エストロゲン | アンドロゲン | 抗アンドロゲン | 甲状腺ホルモン | 抗甲状腺ホルモン | 脱皮ホルモン | その他* |
| ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | ○ |

○：既存知見から示唆された作用

—：既存知見から示唆されなかった作用

*その他：視床下部—下垂体—生殖腺軸への作用等

試験管内試験結果

| 試験対象とした作用モード | | | | | | | |
|--------------|---------|--------|---------|---------|----------|--------|------|
| エストロゲン | 抗エストロゲン | アンドロゲン | 抗アンドロゲン | 甲状腺ホルモン | 抗甲状腺ホルモン | 脱皮ホルモン | その他* |
| P | N | N | ○ | — | N | — | — |

P：EC₅₀ 又は IC₅₀ 値が検出

N：EC₅₀ 又は IC₅₀ 値が検出不可

*：その他

○：試験対象としたが、まだ実施していない作用モード

—：試験対象としなかった作用モード

第1段階生物試験結果

雄では、肝臓中ビテロゲン濃度の上昇が確認でき、雌では、総産卵数、受精率の統計学的に有意な低値が認められたことから、メダカの生殖に対する有害性を有する可能性はあるが、死亡率が高値であるため、本結果のみから結論を得ることはできなかった。